

北海道地方における気候変動を踏まえた 治水対策技術検討会の中間取りまとめを公表します

～気候予測アンサンブルデータを用いた ハード・ソフト対策等の一体的な適応策を検討～

北海道開発局及び北海道は、「北海道地方における気候変動を踏まえた治水対策技術検討会」において、平成28年に甚大な被害が生じた河川を対象とし、気候予測アンサンブルデータを活用[※]して、気候変動を踏まえた適応策等を検討してまいりました。

「北海道地方における気候変動を踏まえた治水対策技術検討会（第3回）」を5月18日に書面開催し、本日、これまでの議論を踏まえ作成された中間取りまとめを公表します。

北海道地方においては、平成28年8月の大雨により甚大な被害が発生するなど、近年洪水被害が頻発しています。頻発する洪水被害に対し、北海道開発局と北海道が連携し、現時点の科学技術として最新かつ最善と考えられる、これまでの気候及び今後予測される気候に係る気候予測アンサンブルデータを取りまとめ、気候変動に伴うリスク評価を進めてきたところです。

令和元年7月、「北海道地方における気候変動を踏まえた治水対策技術検討会」を設置し、「気候予測アンサンブルデータを活用した適応策」及び「気候変動を踏まえた当面の治水適応策に係る目標設定の考え方」に関する技術的な検討等を行うこととし、令和元年7月26日に第1回検討会を開催した以降、議論を重ね、5月18日の第3回検討会（書面開催）にて、中間取りまとめ（案）について意見をいただきました。

本日、これらの議論を踏まえ作成された中間取りまとめを公表します。

記

1. 資料について

- ・検討会資料、中間取りまとめ資料は、北海道開発局ホームページに掲載いたします。

北海道開発局HP https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/kawa_kei/splaat000001offi.html

2. その他

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、本会議は書面開催といたしました。

※気候シミュレーションにより作成された数千年分の気候データを活用することにより、災害につながる低頻度の自然現象の発生頻度を議論することが可能となります。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

建設部 河川計画課 河川調整推進官 武田 淳史（内線 5288）

流域治水専門官 阿河 一穂（内線 5297）

企画係長 橋本 慎一（内線 5327）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

